

## 令和6年第2回定例会・一般質問

○日 時 令和6年7月11日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	安道 泰治	<p>1. 共助交通を活用した新たな物流システム構築事業について（企画課）</p> <p>（1）共助交通も、1年が経過し安定してきたと思うが免許返納、移動販売の廃止などが進み、高齢者の買物環境への不安は広がっている。 買物困難者の物流体制の計画をどう進めていくのか問う。</p> <p>（2）持ち帰り再配達や、ドライバー不足などによる宅配便減少が問題になっているなかで官民連携によって住民サービスの向上につながるよう進めていくのかを問う。</p> <p>2. コミュニティースクールの現状と今後の事業展開について（教育課）</p> <p>（1）地域と学校が、連携・協働するため、昨年地域コーディネーターが組織されボランティアを含めた事業活動が増えつつあるが現状と今後の展開を問う。</p> <p>（2）郷土愛を育むためには、地元の山などに登り、ふる里を見つめなおすのも大事な事だと考えるが、教育長の所見を問う。</p>	9:00
2	大河原 昭洋	<p>1. 住民満足度の高い町政について（総務課・企画課）</p> <p>（1）先に行われた町長選挙では実に43年ぶりとなる無投票で再選を果たされた。2期目の今後4年間では町の将来像として、どのような町政運営を描き考えているのか。</p> <p>（2）人口減少対策の柱として、雇用の場の確保は大きな課題である。新たな産業創出への挑戦も必要と思うが、町長はどのように考えているのか。</p> <p>（3）若者の未婚化や晩婚化が急速に進んでいるが、婚活支援における具体的な対策を講じる考えは。</p> <p>（4）町内にある各集落は祭りなどの伝統文化を維持しつつ、農地の管理や森林の保全など、大きな公益的役割を果たしてきたが、人口減少と高齢化に伴い、生活扶助機能の低下がみられている。今後の集落の維持再生をどのように考えているのか。</p>	9:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	岡田 光弘	<p>1. 金兒町政の2期目の取り組みについて（企画課ほか関係課）</p> <p>先月執行された町長選挙においては、本町においては実に43年ぶり無投票での当選となり2期目の町政がスタートしたが、この時点において今後4年間で何を柱に施策を展開しようとしておられるのか、どのような実効ある取り組みを進めていくのか現状の認識と今後の戦略について町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 1期目はコロナ禍での厳しい期間であったが、どのように総括し、どのような課題が残ったと認識されるか。</p> <p>(2) 2期目において、1期目の課題克服も含めて何を重点的に取り組もうとされるのか。</p> <p>(3) 住民との対話の重視を掲げておられますが、どのような手法で住民対話を図り、それを施策に展開していかれるのか。</p> <p>(4) 施策の展開において、重要なのはその達成度を把握してPDCAサイクルを回していくことと考えるが、住民満足度の向上とあわせて具体的にどのように展開していかれるか。</p> <p>(5) 少子高齢化の進行するなかで、人口減少対策をすすめるとともに人口減少社会にどのように適応していくのかも重要と考える。本町としてどのような適応策を展開していかれるか。</p>	10:35
4	北川 貴将	<p>1. 共助交通に関する問題の対策について（企画課）</p> <p>(1) 共助交通を継続可能なシステムにするため、将来のドライバーのなり手不足問題についてどのような対策をしていく考えであるか。</p> <p>(2) 利用者の共助交通に対する理解（問題解決）が不十分と考えるが、再度、集落説明会をして、理解（問題解決）に努める考えはないか。</p>	11:20

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
5	西尾 寿樹	<p>1. 災害対策と支え愛・防災マップについて（福祉課）</p> <p>(1) 集落が孤立するような災害が毎年のように頻発している。本町としての災害対策が進められて来ているが、今後どのように進めて行くのか。</p> <p>(2) 支え愛・防災マップは、作成から数年が経過した集落が多数を占める。更新が急務と考えるがどのように進めて行くのか。</p> <p>2. ふるさと納税について（総務課）</p> <p>(1) 鳥取県西部では、JR西日本と連携した町の返礼品がある。本町には智頭急行（スーパーはくと等）があるが、連携を深め、ふるさと納税の返礼品へと進めて行く考えはないか問う。</p> <p>(2) 林業が基幹産業である本町の豊富な木材を活用したものを、返礼品として利用する考えはないか町長の所見を問う。</p>	13:00
6	仲井 莖	<p>1. 町民の満足度を上げるための取り組みについて（企画課）</p> <p>(1) 新たな決意と、今後の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 町長選が無投票となるのは43年ぶりということもあり、町民の町政に対する意識を確認するためにも意識調査が必要であると考え、町長の考えを問う。</p> <p>2. 人口減少対策について（企画課）</p> <p>(1) 「消滅可能性自治体」と指摘されているが、町長はどのように受け止めておられるのか。また今後の課題について所感を問う。</p> <p>(2) 地方から若者を流出させないための対策の一つとして、多様な社会の実現が必須であると考え、 たとえば、人権意識調査の結果の中でも、「性的マイノリティ」についてのテーマに関して、年代が高くなるほど関心が低くなっている。 このような認識の差を解消するために、理解及び対応を積極的に行うべきだと考えるが、町長の認識を問う。</p> <p>3. 智頭病院経営強化プランの実現にむけて（智頭病院）</p> <p>(1) 強化プランの達成には、医師確保が必須である。 耳鼻咽喉科の復活を願う署名活動が行われていたが、今後の可能性について問う。</p> <p>(2) 経営強化プランを実現するためには、住民の理解が不可欠であると考え、具体的な対策を問う。</p>	13:35

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
7	波多 恵理子	<p>1. 子育て支援について（福祉課）            少子化の加速を抑え、人口減少に歯止めをかけるためには、子育て支援が重要な政策と考えます。            そこで子育て支援策について3点伺います。            (1) 智頭町の母親学級、父親学級の取り組みの現状はどのようなになっているのか。            (2) 男性が育児休暇を取得しやすくするために智頭町としてはどのように取り組んでいくのか。            (3) 自治体向けのベビー用品レンタル事業に取り組んではどうか。</p> <p>2. 庁舎、総合センターの建て替えについて（総務課）            2018年に策定された智頭町行政系施設個別計画において対象施設として本庁舎と総合センターの施設の在り方について考えるとあり、2020年度までに方針を決定するとありますが、今後の方針について、町長のお考えは。</p>	14:25
8	谷口 翔馬	<p>1. 住民満足度について（総務課・企画課）            (1) 町長の信念に「住民満足度を高めるためには、住民皆様の小さな声をしっかりと聞き、対応することが大切である」とあるが、小さな声を聞く方策を今後どのように講じていくのか町長の所見を伺う。            (2) 今以上にSNSを活用することで、住民の声や町の情報発信を強化することができるのではと考えるが町長の所見を伺う。</p> <p>2. 定住対策について（企画課・税務住民課）            将来本町が元気な町として存続させていくためにも、気軽に住める環境づくりが最も大切だと考えるが、町長が再任されて今後どのように定住対策を講じていくのか町長の所見を伺う。</p>	15:00

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。